

令和7年第5回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 日 時 | 令和7年（2025年）5月7日（水） 午後1時30分 |
| 2 | 場 所 | 市役所本庁舎5階教育委員室 |
| 3 | 出席者 | 藤井教育長，木村委員，小葉松委員，國谷委員，井口委員 |
| 4 | 欠席者 | |
| 5 | 事務局 | 土生生涯学習部長，堤学校教育部長，宮田生涯学習部次長，
上野学校教育部次長，鈴木管理課長，中田教育政策課長 |
| 6 | 傍聴者 | 0人 |
| 7 | 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

○ 開会宣言 午後1時30分

○ まず，日程第1，議事録署名人の指名について，木村委員，小葉松委員を指名する。

○ 本日の日程のうち，日程第6 議案第6号「函館市教育振興審議会に対する諮問事項に関し，議決を求めることについて」から，日程第8 議案第8号「函館市学校給食共同調理場条例の一部改正する条例の制定依頼に関し，議決を求めることについて」を「非公開」としたいが，いかがか。

（異議なし）

■藤井教育長

○ 異議がないので，「非公開」とする。

○ 次に日程第2，月間事業報告について，事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

○ 5月1日だが，4月25日に参考資料配付を行った，緑の島スケートボードエリアについて利用開始となった。

■学校教育部長

○ 4月15日だが，資料に記載のとおり「令和5年度卒業アルバム掲載情報の漏えいの可能性について」参考資料配付を行った。

○ また，この期間に教育委員会に寄せられた市民の声を，Googleドライブにアップロードしているので，後ほどご覧いただきたい。

■藤井教育長

○ 事務局の動きについて何かあるか。

（意見なし）

■藤井教育長

- 次に、日程第3 議案第1号「函館市立学校管理規則の一部改正に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 休業日について、現行では学年始休業日は4月1日から4月5日までと設定しているが、暦の影響を受けることなく新年度準備に向けた稼働日数を確保するため、「4月7日まで」へと変更するものであり、規則の施行期日は、令和8年4月1日とするものである。

■藤井教育長

- 議案第1号について何かあるか。
(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第1号について、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第4 議案第2号「函館市いじめ防止対策審議会委員の解嘱に関し、議決を求めることについて」および議案第3号「函館市いじめ防止対策審議会委員の委嘱に関し、議決をもとめることについて」一括、学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 議案第2号については、本人からの辞任の申し出により、齊藤 精克氏ほか3名を、令和7年5月7日をもって、解嘱しようとするものである。
- 議案第3号については、解嘱される委員の後任として、木村 理希氏ほか3名を、本日より前任者の残任期間である令和8年3月31日まで委嘱しようとするものである。

■藤井教育長

- 議案第2号および第3号について何かあるか。
(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第2号および第3号について、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第5、議案第4号「函館市教育支援委員会委員の解嘱に関し、議決を求めることについて」および議案第5号「函館市教育支援委員会委員の委嘱に関し、議決を求めることについて」一括、学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 議案第4号については、本人からの辞任の申し出により、太田 望氏ほか6名を、令和7年5月7日をもって解嘱しようとするものである。
- 議案第5号については、解嘱される委員の後任として、杉本 任士氏ほか6名を本日

より前任者の残任期間である令和8年5月25日まで委嘱しようとするものである。

■藤井教育長

- 議案第4号および第5号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第4号および第5号について、原案のとおり決定する。
- 日程6，議案第6号「函館市教育振興審議会に対する諮問事項に関し，議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき，会議録省略)

■藤井教育長

- 議案第6号について，原案のとおり決定する。
- 日程7，議案第7号「令和7（2025）年度教育費補正予算要求に関し，議決を求めることについて」生涯学習部長から説明を求める。

(非公開につき，会議録省略)

■藤井教育長

- 議案第7号について，原案のとおり決定する。
- 日程8，議案第8号「函館市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例の制定依頼に関し，議決を求めること」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき，会議録省略)

■藤井教育長

- 議案第8号について，原案のとおり決定する。
- 次にその他として，「いじめ見逃しゼロ啓発用リーフレット」について学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 本資料は，函館市いじめ防止対策審議会において，「函館いじめ見逃しゼロへ～いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指して～」というテーマの下，作成し，全児童生徒および関係機関等に配付するとともに，教育指導課WEBページにも掲載している。
- 表面は「いじめ見逃しゼロ」に向けて，保護者向けの内容となっている。裏面は「いじめ等の問題について考える集会」についての取り組みについての紹介や，児童生徒向けに，「悩み事等の学校以外の相談先」についての紹介となっている。
- 今後においては，各学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応に関する取り組みが一層充実し，いじめ見逃しゼロの学校・地域になるよう，さらなる啓発を図つ

ていきたいと考えている。

■教育長

- ただいまの件について、何かあるか。

■小葉松委員

- 個人的な感想だと思っていただければよいが、ゼロという言葉は全か無かであり、こういったリーフレットが配られた中に、本人がいじめと思っているのに、なかなか周りが認めてくれないという状況の子がいたとしたときには、これを見ると、何か相談してみようという気持ちになるのではなくて、自分は見逃されているというように、逆の捉え方をしてしまって、絶望感を増すような可能性や、これはどうなんだろうと感じる方もいるのではないかと思う。どうしてこの話しをするかという、子宮頸がんに関して、今の中学生はワクチンをしているが、理屈上、ワクチンをすることでこの病気を撲滅できるという表現をしたところ、その表現はすでに病気になっている人に対して非常なストレスを与えるのではないかと、そういった指摘を受けたことがあるという話しを過去に聞いたので、いじめをなくそうであるとか、見逃しを減らそうであるとか、そういった表現だと良いが、ゼロという全か無かしかない様な印象を与える言葉で、また、リーフレットではゼロをすごく強調しているので、スローガンとしてはいいと思うが、自分がいじめを自覚しているのに、なかなか助けてもらえないという立場に置かれた子が、これを目にしたときにはどう感じるかを考えたりした。感想であるので、これを変えるとかそういう話ではないが、皆さんはどう思われるか。

■教育長

- 他の委員の方はいかがか。

■國谷委員

- 正直そこまで深く考えをしなかったが、先ほど子宮頸がんワクチンのお話を聞いたときに、そういった捉え方をすることもできるなと分かった。

■教育長

- 感想とのことであったが、大事なご指摘であるので、学校教育部の方で今後検討していく必要があるかと思う。他にはよろしいか。

(意見なし)

- 次に、日程第9「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

- 次回、令和7年第6回定例会の日程は、6月16日（月）午後1時30分から行う。

■國谷委員

- 先ほど、第3号議案の際に言いそびれてしまったが、附属機関の委員というものについて一部を解嘱、一部を委嘱となっていて、こういった委員は、だいたい2年の任期だと思うが、その団体の地位を退くと、1年ぐらいで退任して、新しくそのポジションに就いた人が選任されるというようなことがあると思う。そうすると、委員になった人は任期途中でやめてしまって、また新しい人が就任してを繰り返す。人が入れ変わって、

リフレッシュするという部分も良いかと思うが、1年ほどで辞めるとなると、よほどその分野に詳しい人でなければ、議論も深まらないうちに、また委員交代があってというような中で、委員が形骸化してしまう。ある程度委員としての職務を全うできるような環境というのがあった方が良くはないかと思っている。内部の実情を分からないままに話しをしているが、この点には検討の余地はあるだろうか。

■教育長

- 附属機関の委員の中には小中学校校長会から推薦を受けた委員が多くいる。校長会では毎年、会の中での役職が変わるので、それに伴い委員が変わってしまうこともあるが、ご指摘については校長会にも改めて話しをするようにしたい。

■学校教育部長

- できるだけ任期を全うできるよう、調整は図っていただいているが、どうしても調整がつかず、推薦している委員を変更するという例もいくつか挙がっている。しっかりと校長会と連携を取りながら、ご指摘を踏まえて検討していきたい。

■教育長

- 他に何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- これで、定例会を終了する。

■終了宣言

- 午後2時2分

議事録署名人 木 村 雅 彦

〃 小葉松 洋 子

調製者庶務係 庭 田 真 由